



2015年3月期 報告書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

ごあいさつ



乾汽船は2014年10月1日、イヌイ倉庫と乾汽船の統合により、新たな会社としてスタートしました。

両社はそれぞれ、90年と110年、倉庫業と外航海運業という領域で事業活動してまいりました。この間、運輸や物流を取り巻く事業環境は大きく変化し、生産から消費まで、物の流れを全体最適化させようとする「ロジスティクス」という考えに包含されつつあります。そして今、国際的な物の流れはますます盛んになろうとしております。

このような時代の変化に即し、乾汽船が、お客様のその先のお客様にも選ばれる企業であるために、役職員一同、「統合後の経営方針について」で打ち出した『経営の3つの軸』（日々のカイゼン、事業資産の配分、新たな試みーグローバルロジスティクス）を基点に、引き続き着実な歩みを進めてまいります。

これからも乾汽船をよろしくお願いいたします。

2015年6月

代表取締役社長 乾 康之

当期の概況

当連結会計年度における世界経済は、先進国、とりわけ米国を中心に回復基調にありましたが、欧州ではようやく始まった持ち直しの動きが足踏み状態にあること、アジアでは中国経済の成長が緩やかに減速を続けていることなどから、世界経済の成長ペースは緩やかなものとなりました。また、日本経済におきましては、政府による経済政策や日銀の金融緩和により企業収益や雇用環境の改善など明るい兆しが見られました。その一方で消費税率引上げ以降個人消費の回復に時間を要するなか、先行する物価上昇にともなう実質所得の低下など依然先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当連結会計年度における当社グループの業績におきましては、売上高は15,814百万円、営業損益は570百万円の損失、経常損益は1,045百万円の損失、当期純利益は負ののれん発生益の計上があり、9,246百万円となりました。

セグメント別業績の概況

■ロジスティクス

外航海運事業

当社が運航するハンディサイズばら積み船を取り巻く環境は、船腹過多による需給ギャップが拡がり、運賃・用船料は、採算を大幅に割り込む水準となりました。燃料油価格低下のコスト減少要因もありましたが、スポット契約の比重が大きいハンディサイズばら積み船においては、原価の減少が運賃に反映されやすいこともあり、厳しい事業環境が続きました。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は8,237百万円、セグメント損益は本経営統合に伴う償却負担の増加(467百万円)があり、1,336百万円の損失となりました。

倉庫事業

物流業界におきましては、貨物保管残高は前年度を上回る高い水準となりましたが、貨物取扱量は下期にかけて前年同期を下回り、低調に推移いたしました。また、賃貸物流施設の稼働率はタイトな需給バランスにより、引き続き高い水準にて推移いたしております。

このような状況下、当社グループの倉庫事業におきましては、文書保管事業の収益寄与があったものの、倉庫保管事業

において既存顧客の取引高の減少により売上高は前年同期比108百万円減収(△3.3%)の3,125百万円となりました。セグメント利益は持分法適用関連会社の損失が減少したこと等により、前年同期比40百万円増益(+24.6%)の206百万円となりました。

■不動産事業

不動産業界におきましては、都心部の賃貸オフィスビル市況は空室率の低下が続き、賃料水準も小幅な上昇傾向となりましたが、東京23区の賃貸マンション市況は賃料水準に回復傾向が見られるものの前年度並みの水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、既存賃貸物件の稼働率上昇や新規稼働物件の収益寄与にともない、売上高は前年同期比477百万円増収(+12.0%)の4,451百万円、セグメント利益は前年同期比443百万円増益(+44.7%)の1,435百万円となりました。

次期の見通し

今後の世界経済は、米国で景気の着実な回復が期待されるものの欧州経済や新興国経済の先行きには不透明感があります。また、日本経済は回復基調が続くと期待されますが、海外景気の下振れによる影響も懸念されます。

このような状況下、外航海運事業では、船舶の供給過多にともなう運賃市況低迷の影響は深刻であり、市況の回復には時間を要する見込みです。また、倉庫事業でも貨物取扱量の減少傾向が続く見込みです。一方、不動産事業では、顧客の選別によるエリア格差はありますが、総じて賃貸市場の回復が見られます。

このような状況下、当社グループは、2014年10月1日の経営統合にともない、「これからの乾汽船」(<http://www.inui.co.jp/ir/library/managementplan.html>)で打ち出した「経営の3つの軸」(日々のカイゼン、事業資産の配分、新たな試みーグローバルロジスティクス)を基点とし、経営管理における重要指標をキャッシュフローとし、2017年3月期迄を目途に、市況が悪い時でも安定配当の維持を可能とする事業の基礎構造を構築してまいります。

次期の業績予想につきましては、売上高は25,805百万円、営業損益は2,436百万円の損失、経常損益は2,749百万円の損失、当期純損益は2,319百万円の損失となる見込みです。

船隊整備

当社ではハンディ及びハンディ・マックス型ばら積船を中心とした船隊整備をしており、グループ会社の所有船舶と船舶保有会社より賃借した用船により船隊を構成しております。現在のリーマンショック直後の暴落を上回る海運市況の悪化を深刻に受け止め、船隊整備を再考することといたしました。具体的には海運事業の収益を圧迫する主要因となっている用船の長期借船契約について問題解決のため対策の検討に着手してまいります。

中期的な船隊整備につきましては引き続き、海運市況、新造船及び中古船の市場価格等を見極めながら最適化を進めてまいります。



KEN SHIN

不動産事業の状況

当社が保有する勝どき地区の所有不動産の状況につきましては、その利便性や東京オリンピックを控えての注目度の高まりもあり、高い稼働率を維持し業績に貢献しております。また、2014年1月に稼動した月島荘については、同施設のコンセプトへの賛同も得られ順調に稼働率を伸ばしており、引き続き稼働率を上げ業績に貢献できるよう努力してまいります。



プラザタワー勝どき



イヌイビルカチドキ



月島荘

単位：百万円（記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。）

連結貸借対照表(要旨)

科 目	当連結会計年度 2015年3月31日現在
(資産の部)	
流動資産	9,088
固定資産	66,761
有形固定資産	50,731
無形固定資産	459
投資その他の資産	15,571
資産合計	75,850
(負債の部)	
流動負債	9,955
固定負債	29,946
負債合計	39,902
(純資産の部)	
株主資本	33,514
資本金	2,767
資本剰余金	11,625
利益剰余金	20,128
自己株式	△1,006
その他の包括利益累計額	2,433
その他有価証券評価差額金	2,196
繰延ヘッジ損益	△98
為替換算調整勘定	334
純資産合計	35,947
負債純資産合計	75,850

連結損益計算書(要旨)

科 目	当連結会計年度 2014年4月 1 日から 2015年3月31日まで
売上高	15,814
売上原価	15,290
売上総利益	523
販売費及び一般管理費	1,094
営業損失	570
営業外収益	212
営業外費用	687
経常損失	1,045
特別利益	9,956
特別損失	262
税金等調整前当期純利益	8,648
法人税、住民税及び事業税	8
法人税等調整額	△605
当期純利益	9,246

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	当連結会計年度 2014年4月 1 日から 2015年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△608
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,150
現金及び現金同等物に係る換算差額	98
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△471
現金及び現金同等物の期首残高	1,435
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△47
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	4,309
現金及び現金同等物の期末残高	5,226

会社概要

会社の概況 (2015年3月31日現在)

資本金	27億6,750万3,820円 (東京証券取引所市場第一部上場)
本社	東京都中央区勝どき一丁目13番6号
従業員数	連結146名、単体87名
主要な事業内容	●外航海運事業 船舶の自社運航による貨物輸送、船舶貸渡業 ●倉庫事業 倉庫、荷役、貨物運送、物流不動産事業の企画、開発、賃貸、仲介並びに建物管理 ●不動産事業 施設賃貸

取締役・監査役 (2015年6月19日現在)

代表取締役社長	乾 康 之
取締役	乾 隆 志
取締役	湯 浅 和 夫 ※
取締役	苦 瀬 博 仁 ※
取締役	川 崎 清 隆 ※
常勤監査役	高 橋 幸一郎 ※
監査役	田 中 正 人 ※
監査役	尾 崎 輝 郎 ※

※印は社外取締役及び社外監査役であります。

執行体制 (2015年6月19日現在)

社長	乾 康 之	コーポレート部門担当
専務執行役員	乾 隆 志	オペレーション部門担当
常務執行役員	朝 原 登	営業部門担当

グループ構成

- 乾汽船株式会社
〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号
☎03(5548)8211
外航海運事業、倉庫事業及び不動産事業を行っております。

主な連結子会社

- イヌイ倉庫オペレーションズ株式会社
〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号
☎03(5548)6110
倉庫内作業(入出庫作業・在庫管理業務等)及び配送業務を行っております。
- INUISHIPPING (SINGAPORE) PTE. LTD.
72 Anson Road #11-01 Anson House
Singapore 079911
☎+65-(6438)0545
船舶の所有、貸渡及び運航事業を行っております。
- DELICA SHIPPING S.A.
Banco Aliado Tower,Ricardo Arias Street, Suite 12-B,
Panama City, Republic of Panama
船舶の所有及び貸渡業を行っております。

持分法適用関連会社

- イヌイ運送株式会社
〒135-0062 東京都江東区東雲二丁目1番10号
☎03(3528)1254
主に法人向けの引越業(転勤引越、事務所移転)を行っております。
※2015年7月1日付けで当社の連結子会社となる予定です。

株式情報

株式の状況 (2015年3月31日現在)

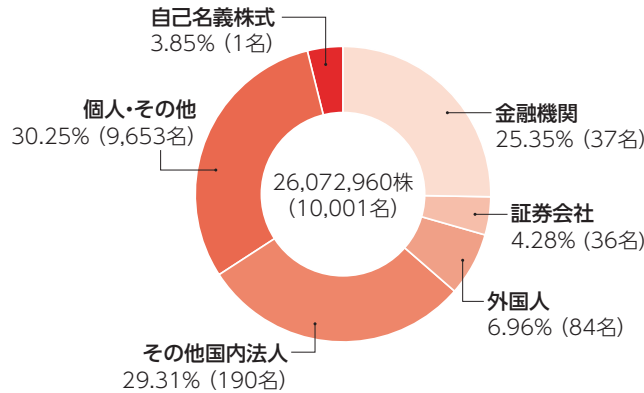
発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	25,068,982株 (自己株式1,003,978株を除く)
株主数	10,001名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東京海上日動火災保険株式会社	1,283	5.12
松岡冷蔵株式会社	992	3.96
株式会社商船三井	980	3.91
乾 民治	902	3.60
クレディ・スイス・セキュリティーズ(ヨーロッパ) リミテッドピービー オムニバス クライアント アカUNT	849	3.39
株式会社三井住友銀行	848	3.38
立花証券株式会社	785	3.13
王子ホールディングス株式会社	763	3.05
乾 英文	698	2.78
みずほ信託銀行株式会社	677	2.70

(注)持株比率は当社が保有する自己株式(1,003,978株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主の皆様のお役にたてるよう、決算情報をはじめ、決算説明会の模様などの会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.inui.co.jp/>

Top画面



IR画面



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告した日
公告方法	当社のホームページに掲載。 (http://www.inui.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社のホームページに掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

当社は、単元株制度を採用しており、1単元は100株です。
単元未満株式(1～99株)は議決権がなく、また証券市場にて売買することができません。

単元未満株式につきましては、法律及び当社定款・株式取扱規則の規定に基づき単元未満株式の買取・買増請求制度をご利用いただけます。

株式に関する各種手続き、問い合わせ先

1.証券口座に株式をご所有の株主様

お取引証券会社にお問い合わせください。

2.特別口座に株式をご所有の株主様

下記の、特別口座管理機関にお問い合わせください。

・旧イヌイ倉庫の株主様

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話0120-288-324(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

・旧乾汽船の株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話0120-782-031(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)



〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号 プラザタワー勝どき
TEL: 03(5548)8211(代) <http://www.inui.co.jp/>

